

# ①磐梯山登山（八方台登山口往復コース）

（活動時間の目安：8時間）

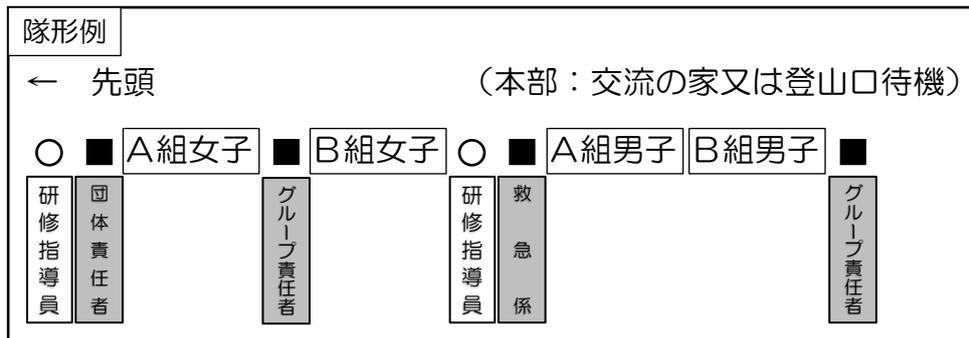


概要	山頂の高さが1800mでスタート地点の八方台登山口の標高が1200mなので、山頂との標高差は約600mの高低差が少ないコースです。晴天時には山頂から猪苗代湖が一望できます。			
ねらい	集団で自然体験活動をすることで生きる力や自己有用感を育むとともに、心身の健康を図ります。			
条件	対象	小学5年生～	人数	制限はないが1クラスに1名の引率者が必要
	時期	山開き後～9月	実施判断	雷注意報時は中止
準備物	交流の家(貸出物品)	団体(準備物)	個人(準備物)	
	<input type="checkbox"/> 熊鈴 <input type="checkbox"/> 地図・登山マップ <input type="checkbox"/> 方位磁針 <input type="checkbox"/> トランシーバー（研修指導員用）	<input type="checkbox"/> 救急セット <input type="checkbox"/> 登山計画書 <input type="checkbox"/> 非常時用簡易トイレ <input type="checkbox"/> 非常用水・非常食 <input type="checkbox"/> 携帯電話・時計	<input type="checkbox"/> デイバック <input type="checkbox"/> 長袖・長ズボン <input type="checkbox"/> 帽子、水筒（水1ℓ以上） <input type="checkbox"/> 雨具	
引率者の役割	団体責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修指導員との事前打合せと当日の実施判断・中断の決定をします。</li> <li>交流の家に下記4地点で連絡を行います。（登山前の八方台登山口・弘法清水小屋・頂上・下山後の八方台登山口）</li> </ul>		
	グループ責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>出発前と活動中及び到着後の人数の把握と健康状態の確認をします。</li> <li>研修指導員からの指示や注意事項などを参加者に伝えます。（学校では担任が一般的）</li> </ul>		
	救急係	救急セットの携帯と応急手当をします。		
	本部係	交流の家又は登山口で緊急車両を用意して待機し、途中下山者対応に備えます。		
研修指導員の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動当日の朝に交流の家で団体責任者と打合せをします。</li> <li>登山口で参加者に安全面についての説明をします。</li> <li>活動中は道案内や危険個所で状況に応じた指示を出します。</li> <li>下山後に交流の家で団体責任者と振り返りをします。</li> </ul>			
交流の家職員の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>物品の貸出や回収を行います。</li> <li>団体責任者からの連絡を受け取ります。</li> <li>当日の朝の打合せ、下山後の振り返りの進行を行います。</li> </ul>			

活動の流れ	<p>【施設入所前に引率者が行うこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に登山をしてコースと時間配分の確認をします。</li> <li>・入所 40 日前までに指導員依頼（活動日程表の提出）をします。目安は1 クラスに対して指導員 1 名となります。</li> <li>・登山当日までに日程・登山形態（安全管理・留意事項欄参照）を計画して登山計画書（届）を2部作成します。（登山ポスト又は猪苗代警察署用に1部、交流の家用に1部）</li> <li>・事前に役割分担や参加者への指導（安全指導、装備確認）などを行います。</li> <li>・活動日の天候等により登山を中止する場合は登山前日の 16 時まで交流の家に連絡をします。</li> </ul> <p>【施設入所後に引率者が行うこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交流の家に登山計画書（届）を1部提出します。</li> <li>・登山時の持ち物や実施判断についての確認をします。食堂で弁当を注文した場合は、受け渡し場所や時刻も確認します。</li> </ul>
	<p>【登山当日～登山口到着】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・団体責任者は研修指導員と 7：45 に事務室にて実施の判断をします。詳細は登山判断基準（安全管理・留意事項欄参照）をご覧ください。実施決定後に打合せを行います。</li> <li>・団体と研修指導員は団体の車両で八方台登山口に移動します。</li> <li>・登山口到着後にグループ責任者は参加者の人数と体調の確認・把握をします。貸出物品を参加者に渡します。</li> <li>・引率者は参加者の態勢を整え、研修指導員の説明（主に安全面について）を参加者と一緒に聞きます。</li> </ul> <p>【登山中】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ責任者は休憩時などに参加者の点呼と健康観察を行います。また、研修指導員と適宜相談をして安全に活動できるように参加者を指導します。</li> <li>・グループ責任者はペースが遅くなった参加者がいた場合に研修指導員と団体責任者へ状況を伝えて、指示を仰ぎます。</li> <li>・団体責任者は傷病者が発生した場合に救急係に応急手当の指示を出し、研修指導員と相談して登山継続か下山するかを判断します。下山する場合は本部係とグループ責任者に指示を出すなど傷病者対応をします。また、天候の急変その他の事情が発生した場合は研修指導員と相談して、途中下山の判断と指示を出します。</li> </ul> <p>【下山後】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ責任者は参加者の人数と体調の確認をします。</li> <li>・グループ責任者は貸出物品を事務室に返却します。</li> <li>・団体責任者は事務室で研修指導員と振り返りを行います。</li> </ul>

安全管理  
留意事項

- 研修指導員の都合によりご希望の人数が手配できない場合があります。
- 登山隊形については、引率者の配置は先頭に1名（団体責任者）～中継1名以上～後尾1名としてください。（下記例参照）



- 引率者は登山日の活動をゆとりのある計画にしてください。
- 引率者は登山前や登山中にコースの逸脱、石を蹴る、走る、研修指導員の説明を聞かないなどの危険行為がないように指導してください。
- 参加者は植物や樹木などを採集せずに、ごみは持ち帰ってください。
- 参加者は森の中など虫が出る所が多くありますので、虫に刺されない対策（虫よけスプレー、長袖長ズボン）をしてください。
- 引率者は水分補給を徹底させ、熱中症対策を講じてください。
- 登山を中止する場合は前日に16時までに交流の家に連絡をお願いします。
- 登山活動実施判断基準は下記表の通りです。判断基準に該当する天候の場合は、安全管理上登山の実施を中止としています。また安全確保のために登山の途中で下山する場合があります。
- 貸出物品の破損・紛失の場合には団体に弁償していただきます。

警報または注意報	大雨	強風	雷
	大雪	暴風	火山
降水量	5mm/h以上		
風速	10m/s以上		
その他	著しく気象の変化がある		
	利用者からの中止の申し入れ		
	交流の家として中止と判断したとき		